



# 一度止まる ~心のベル~

先週の道徳の時間に『心のベルとは何だろう』と全クラスで考えました。あるクラスの感想を読ませていただきましたが、その中に『自分が間違っただけで行動をしそうになったときに踏み止まらせてくれるもの』『ちゃんやれよ!という心の声』など『自分自身と向き合うために心の中で鳴るもの』という考え方をしている生徒がたくさんいました。私もその考え方にとても共感しました。実は、宿泊学習から帰ってきてから、いくつか学年の中で課題が見つかりました。

- ・公共物へイタズラをしてしまったこと... ・仲間が心を痛めるようなことをしてしまったこと...
- ・仲間の嫌がるようなことをし、互いにぶざけ合いをしていること...
- ・清掃や給食準備に向かう気持ちがつかぬまま、自分のやりたいことをしていること...

これまでの学年集会や通信で生徒の皆さんには『何が言葉にしたり、行動にうつす時には、必ず考えなさい』と伝えてきています。『考動』という言葉で伝えてきました。

## 正しい判断をするためには、どうすればいいのか?

『考動』にひとひ付け加えるとするなら『一度止まる』ことです。一度、しっかりと立ち止まって、これから自分がする行動が正しいことなのかを考えてみると良いと思います。

『一』度『止』まることで『正』しい判断ができるかもしれません。

「考動」、「一」度「止」まる。このキーワードが生徒の皆さんの心のベルの一つになればと願っています。



STOP

## 《私の心のバル》

実は私の中にも心のバルがあって、毎日しかりと鳴っています。私が教師になって23年間、毎朝、職員室の机にはこんである（ガキを見て『よし、今日も生徒とがんばろう!』とスイッチを入れています。その（ガキに書かれている言葉は、私が中学校を卒業した年に担任の先生からいただいたものです。

1. 『広く学び』, 2. 『つまびらかに問ひ』, 3. 『慎重に考え』
4. 『はっきりと理解し』, 5. 『心もこめて行いにうつす』

いっても、この5つを頭において、生徒と一緒に考えたり、悩んだり、喜んだり、悲しんだり、大笑いしたり、泣いたり心もこめて接しています。

とても忙しい日々の中で、この5つが頭からはなれそうになったときに私の心のバルは鳴り響きます。『そりゃダメだぞ!!』と私の担任の先生の声が聞こえてきます!!

いくつになっても、担任の先生の存在は私にとって大切なものとなっています。

春風や  
闘志いだきて  
丘に立つ



「広く学び、つまびらかに問ひ、慎重に考え、はっきりと理解し、心もこめて行いにうつす。」  
このことは大印ですが、大変なことです。生徒は常に頭におき、がんばってほしい。



## 《毎朝、気持ちが良いです》

今、生活委員会のキャンペーンで、げに箱の『靴を揃えよう!』『靴を揃えながら、心を整え、今日もがんばろう!』と取り組んでいます。

はじめはバラバラだったげに箱も徐々に揃ってきています。朝、生徒の皆さんの様子を見ていると、

丁寧に両手を揃えてくれている姿がたくさん見られます。ご家庭ではいかがでしょうか?



《連絡です》6月2日(木)の引き渡し訓練では、以下のものをご用意ください。

- ① 入校証 ② 引き渡しカード ③ 健康チェック用紙 よろしくお願いいたします。